

よいお年をお迎えください！

早いもので 2017 年もあとわずか。来週には 2018 年の新年を迎えます。皆さんにとっては、この一年はどのような年だったでしょうか。

日本の年末年始は、一年のうちで最も盛大なイベントです。近年ではクリスマスはもちろんのこと、ハロウィーン、バレンタインズデイなど、外国からの行事もすっかり定着して年々盛り上がっていますが、日本人にとっては昔から新年を迎えることがとても大切なことで、お正月は新しい年の始まりとして一年のうちでも特にいろいろな行事が行われ、家庭でも昔からの伝統的な年末年始の過ごし方を好む人が多いのです。

国によって年末年始は様々な伝統的な風習があり、個人的にも「年末年始はこうでなければ！」という、こだわりの決まりごとを作っている人も多いのではないのでしょうか。

そもそも、日本人にとっての年末年始はいつからいつまでのことを言うのでしょうか。

日本の官公庁や民間企業では、12月28日に仕事納めをして29日から1月3日までがお休みとなるところが多いので、一般的にはその期間が年末年始と言えるでしょう。



日本人の伝統的な年末の過ごし方といえば、

- ①大掃除をして、新年を迎えるためにきれいな住環境を整える。
- ②鏡餅かがみもちや門松かどまつ、しめ縄などのお正月の飾りつけをする。
- ③おせち料理（伝統的なお正月料理）のための買い物や、料理の準備、下ごしらえをする。
- ④大晦日おおみそか（12月31日）にはおそばを食べる。（年越しそば）
- ⑤新年へのカウントダウンとなる31日の夜中には、108回の除夜の鐘を聞きながら新年を待つ。

そしてついに年が明けて新年はといえば、

- ⑥元日の朝に家族そろっておせち料理を食べ、お屠蘇とそを飲んで新年を祝う。
- ⑦新年が良い年になるように寺社へお参りに行く。（初詣はつもうで）
- ⑧年賀状ねがじょうを読む。
- ⑨次の日もおせち料理を食べ、お酒を飲み、時には抱負でも語る。



年末は非常に忙しく、新年の三が日はのんびり過ごすというのが昔ながらの過ごし方だったのですが、今ではそのような伝統を踏まえつつも様々な年末年始の風景があります。

さあ、皆さんはどんな年末年始を過ごしますか？新年の楽しい写真でも撮れたら、宮崎県国際交流協会のフェイスブックに是非シェアしてください。

今年一年このリビングイン宮崎をどうもありがとうございました。皆さんの2018年が素晴らしい年となりますように。また来年もどうぞよろしくお願ひします。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：（公財）宮崎県国際交流協会
TEL 0985-32-8457 FAX 0985-32-8512 E-mail miyainfo@mif.or.jp